

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

世帯と人口

11月1日現在・()内対前月比

世帯 47,196 (+ 74)

人口 123,686人 (+ 67)

男 62,947人 (+ 32)

女 60,739人 (+ 35)

広報えびな

住みたい住み続けたい海老名の実現へ —実施計画の取り組み状況—

市では、市政運営の基本指針となる総合計画の中で将来都市像を「ゆとりと活力のあるまちえびな」と定めています。この実現に向け、計画的に事業を実施するため、3力年の実施計画を策定しています。このほど15年度の進行状況がまとまりましたので、それぞれの性質ごとに分けられた6つの部門について、その内容をお知らせします。

企画経営課
企画調整担当

6部門別の進行と課題

I 健康福祉都市部門

「健康で生きがいなまち たちまち」を目標に、保健医療と福祉サービスの充実を始めた計画を進めています。

市民医療相談は、担当医師を2人に増員して対応した結果、相談者が増加しました。小児医療費の助成については、制度の拡大と充実を要望しました(16年度に通院対象年齢が拡大)。地域福祉計画については、市民意見を反映した中間案を作成しました(16年度に完成)。介護老人福祉施設

建設等の支援については、15年度までの整備計画が完了しましたが、さらなる支援も課題です。また、心身障害者の雇用・就労については、厳しい経済情勢の中で、働く場所の確保が難しいという状況に対応しながら支援していく必要があります。

II 教育文化都市部門

「心豊かな文化のこころまち」を目標に、生涯学習環境の充実や文化活動の促進を図っています。小中学校を対象に子どもたちがコンピュータを学べる場の整備や環境教育の

推進を図りました。各中学校では、職場体験学習の実施による多様な進路指導の充実を進めています。地元企業や公共施設等の理解や連携が、充実のための課題となっています。

市民参加による生涯学習の推進のため、ボランティアバンク制度の運用を進めた結果、登録者の拡大が図られました。登録が多種にわたり、これらの整理が課題となっています。

III 快適環境都市部門

「安心して快適に暮らせるまち」をめざし、環境に配慮した生活環境づくり・ごみ減量をはじめ、防災対策などにも注目し計画を進めています。

自動車排出ガスの低減については、低公害車の普及啓発・購入の助成を行い、目標以上の導入を図ることができました。また、環境団体への支援を実施していますが、対象団体が少ないという課題があります。交通面では、交通不便地域解消のため国分地域でコミュニティバスの試験運行を開始しました。防災面では、防災訓練の



アクセス道路整備が急務

IV 生活拠点都市部門

「ゆとりのある住みよいまち」を目標に、都市基盤整備を進めています。小田急線の海老名駅と厚木駅の間を進めている鉄道立体交差事業では、本格的な工事に着手しました。

道路整備では、さがみ縦貫道路の開通が19年度に予定されているため、アクセス道路の早期整備など渋滞対策等が課題です。

V 産業複合都市部門

「地域経済に活力があるまち」を目標に、産業と地域社会の共存の実現に向けた計画を進めています。

各事業は、15年度だけで完了するものばかりではありません。年度を分けて継続的に取り組んでいく事業もあります。引き続き、事業の進行状況の把握に努めていきます。

今後に向けた実施計画の整備を進めています

市では現在、17年度から19年度の実施計画を策定中です。これは、海老名市第三次総合計画の基本計画に掲げた施策に沿って事業を具現化したもので、計画期間は3年間で、隔年ごとに見直しをしていきます。策定中の実施計画については、進行管理を参考に事業の見直しを図ることはもちろん、市長マニフェストや安全安心のまちづくり構想に照らして修正を行っています。その概要は今年度中に広報紙面等でお知らせします。

市民参加については、市民参加条例策定懇話会を立ち上げ、中間報告書を市長に提出しました(17年度に条例施行予定)。行政改革では、15年度から第4次行政改革(通称'03改革)として事務事業の見直しを行い、削減すべきところは削り、挑戦するところは積極的に試行するなどの市民満足度の向上をめざしてきました。新たな試みとしては、土曜開庁を試行しました(16年度から本格実施)。

早期かつ積極的に進めていきます

それぞれの事業が抱えている課題については、その有効性や効率性を判断し、事業実施の方法、手法を再検討します。その結果、早期に取り組むことが可能な事業は積極的に導入していきます。今後の海老名市にご期待ください。

報告書閲覧できます

今回の広報でお知らせした事業は、15年度に実施した約700の事業のうちの一部です。市内の各コミセン・文化センターでは、市民生活などに関係の深い170事業をまとめた報告書の閲覧が可能です(市ホームページにも掲載)。なお、環境快適都市部門では環境基本計画の進行管理・評価を行っていますので、併せてご覧ください。



着々と進行する鉄道立体交差事業



土曜開庁サービスも本格実施